

# 第70回中国高等学校柔道大会 開催要項

1. 大会名 第70回中国高等学校柔道大会
2. 主催 中国高等学校体育連盟、鳥取県高等学校体育連盟
3. 後援 讀賣新聞社、鳥取県教育委員会、米子市教育委員会
4. 主管 鳥取県高等学校体育連盟柔道専門部、鳥取県柔道連盟
5. 期日 令和5年6月9日(金)～6月11日(日)
6. 会場 鳥取県立武道館 鳥取県米子市両三柳3192-14  
Tel 0859-24-9300 Fax 0859-24-9311
7. 日程 (1)委員長会議 … 日時 6月9日(金) 15:00～  
会場 鳥取県立武道館 会議室  
(2)監督会議 … 日時 6月9日(金) 16:00～  
会場 鳥取県立武道館 会議室  
(3)審判会議 … 日時 6月10日(土) 9:00～  
会場 鳥取県立武道館 会議室  
(4)1日目(団体試合) 6月10日(土) 10:15 開会式  
【男子】・予選リーグ 4～5チーム、5ブロック  
・決勝トーナメント 10チーム  
【女子】・予選リーグ 3～4チーム、5ブロック  
・決勝トーナメント 5チーム  
(5)2日目(個人試合) 6月11日(日) 9:30 試合開始  
【男子】・トーナメント戦  
・計量日時 6月10日(土) 16:00～17:00  
(団体試合の終了が早い場合、開始時間を早める)  
・計量場所 鳥取県立武道館 小道場2  
【女子】・トーナメント戦  
・計量日時 6月10日(土) 16:00～17:00  
(団体試合の終了が早い場合、開始時間を早める)  
・計量場所 鳥取県立武道館 小道場1
8. 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
(2)参加選手の年齢は4月2日現在、満19歳未満の者とする。  
但し、出場は同一競技(同一大会)3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(3)全日本柔道連盟に登録済みであること。  
(4)転校後6ヶ月未満の者は参加資格を認めない。ただし、一家転住等の理由によりやむをえない場合は各県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。  
(外国人留学生もこれに準ずる)

(5)その他、全国高等学校総合体育大会柔道競技の参加資格に準ずる。

(6)団体試合の部

①中国地区各高等学校体育連盟の予選会、または推薦によって決定したチームで男子各県4チーム、女子各県3チーム出場できる。

②第69回大会優勝該当県（男子：岡山、女子：岡山）と大会開催県（鳥取）は男子5チーム、女子4チーム出場できる。ただし、前年度優勝該当県と大会開催県が同一の場合は、男子6チーム、女子5チーム出場できる。

③1チームの編成

**【男子】** 監督1名、選手5名、補員3名の計9名  
(試合の成立する3名のチームも参加資格を与える)  
(5名に満たない場合は、後ろ詰めとする)

**【女子】** 監督1名、選手3名、補員1名の計5名  
(試合の成立する2名のチームも参加資格を与える)  
(5名に満たない場合は、後ろ詰めとする)

④チームの編成は、全日制、定時制、通信制を混同しないこと。

(7)個人試合の部

**【男子：7階級】** 各県・各階級4名出場できる。

60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級

**【女子：7階級】** 各県・各階級3名出場できる。

48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級

## 9. 試合方法

### 1 団体試合の部

(1) 試合は点取り戦で、予選リーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。

**【男子】** ①参加22チームを4チームと5チームの5ブロックに分けて予選リーグを行い各ブロック1位と2位で決勝トーナメントを行う。

②決勝トーナメントの組み合わせは次による。

(ア) 各ブロック1位のチームを決勝トーナメント2回戦からの出場となるように組み合わせる。なお、同県チームが複数の場合においても、それを配慮することはしない。

(イ) 各ブロック1位のチームは決勝トーナメント表の1、5、6、7、10からフリー抽選により決定する。

**【女子】** ①参加17チームを3～4チームの5ブロックに分けて予選リーグを行い、各ブロック1位で決勝トーナメントを行う。

②決勝トーナメントの組み合わせは、決勝に進んだ5チームのフリー抽選により決定する。

(2) 予選リーグの組み合わせは、開催県において各県1位チームが、また同県チームが合わないよう組み合わせる。ただし、開催県から6チーム出場する場合はこの限りではない。

(3) 予選リーグ及び決勝トーナメントの勝敗の決定は次による。

①予選リーグ戦及び、決勝トーナメント戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

1. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

2. 1で同等の場合は「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

3. 2で同等の場合は「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

4. 3で同等の場合は「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

\*僅差は「指導差2」とする。

5. 4で同等の場合は引き分けとする。

決勝トーナメント戦においては、任意の代表者による代表戦を行う。代表戦で「技有」又は「僅差」以上の得点差がない場合は、延長戦（GS）により勝敗を決する。

延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。

②リーグ戦の順位の設定は次による。

1. リーグ戦をとおり、チームにおける勝敗の内容により上位を決定する。

2. 1で同等の場合はリーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

3. 2で同等の場合は「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

4. 3で同等の場合は「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

5. 4で同等の場合は「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。

6. 5で同等の場合は負け数の少ないチームを上位とする。

7. 6で同等の場合は「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

8. 7で同等の場合は「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

9. 8で同等の場合は「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。

10. 9で同等の場合は任意の代表者による代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（GS）により勝敗を決する。

(4) 予選リーグにおいて途中棄権及び失格の場合は、そのチームに関する対戦成績はすべて抹消する。ただし、リーグ戦最終試合の場合は負けとする。

## 2 個人試合の部

(1) トーナメント戦を行う。

【男子】各階級20名を5ブロックに分けて予選トーナメントを行い、各ブロック1位5名で決勝トーナメントを行う。

【女子】各階級15名を5ブロックに分けて予選トーナメントを行い、各ブロック1位5名で決勝トーナメントを行う。

(出場者数により予選のブロック数はこの限りではない。)

## 3 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定で行う。

(1) 判定基準

### ア 団体試合

「技有」又は「僅差」以上とする。＊僅差は「指導差2」とする。

チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦に入った場合、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。

### イ 個人試合

「技有」又は「僅差」以上とする。＊僅差は「指導差2」とする。

技による評価が同等の場合は延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦に入った場合、「技有」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。

(2) 試合時間 団体戦・個人戦の予選、決勝ともに3分とする。ただし、延長戦（GS）は時間制限を設けない。

(3) その他の必要事項については、審判・監督会議で決定する。

10. 表彰 (1)男子団体戦においては、第1位から第5位まで表彰し、優勝チームには優勝旗、第2位に準優勝楯を授与する。  
(2)女子団体戦においては、第1位から第5位まで表彰し、優勝チームには優勝旗、第2位に準優勝楯を授与する。  
(3)男子個人戦においては、第1位から第5位まで表彰する。  
(4)女子個人戦においては、決勝トーナメント進出者数に応じて表彰する。  
(5)団体戦で連続出場3年以上の学校に表彰状を贈る。(令和2・3年度は含まない)  
(6)団体戦の優秀選手を表彰する。(男女ともに表彰チームより各校1名選出する)

#### 11. 参加上の注意

- (1)選手は国際柔道連盟試合審判規定に定めるところの服装を厳守して試合に出場すること。  
(2)大会における負傷については原則として治療費は自己負担とする。  
(3)参加者は健康保険証を持参すること。  
(4)参加者は、全員柔道衣にゼッケンをつけること。  
ゼッケンは横30～35cm、縦25～30cmで上段に姓、下段に学校名を記入すること。  
男子・・・黒字 女子・・・赤字  
(5)計量は定められた日時に行い、計量を受けない選手は出場できない。  
(6)団体試合出場チームは、オーダー名票を持参してください。  
縦26cm 横12cm ケント紙 白 縦書き  
学校名が記名してある袋に入れて、受付時に提出してください。  
(7)参加料 団体 1チーム 16,000円 個人 1名 1,700円  
「納入方法」 下記口座に5月22日(月)までに振り込む。  
(金融機関) 鳥取銀行 鳥取東支店  
(口座番号) 普通 312844  
(口座名) 鳥取県高等学校体育連盟 柔道専門部 専門委員長 竹本 弘  
※振り込み時には、必ず学校名「〇〇県〇〇高校」で振り込んで下さい。  
(8)参加申込 所定の用紙で1部作成の上、各県委員長宛にメール送信と大会事務局宛に郵送で申し込むこと。  
締切日 各県委員長から事務局への締切を5月12日(金)必着です。プログラム作成のため、参加校は5月9日(火)を目処に各県委員長宛にメールで送信すること。その後、学校長の承認を確認するため5月12日(金)消印有効で書類を下記郵送先に郵送する。なお、県予選が締切日以降の場合は大会終了後直ちに手続きを行うこと。  
送信先メールアドレス 各県委員長宛にお願いします。  
郵送先 〒882-0018 鳥取県倉吉市福庭町1丁目180 倉吉北高等学校内 奥谷祐介 宛  
Tel 0858-26-1351 FAX 0858-26-4683

#### 12. 宿泊 別紙「第70回中国高等学校柔道大会 宿泊・弁当要項」による。

大会期間中の宿泊は大会事務局で斡旋する。必ず斡旋を通して宿泊を申し込むこと。  
(宿泊料金については申込後、旅行代理店からの指示に従ってください。)

#### 13. 選手変更 申込締め切り日以後、出場者に変更を要する場合は、「参加申込・選手変更・宿泊申込」の各要領に従って、必ず委員長会議までに各県委員長に届ける。ただし、オーダーの変更は認めない。宿泊については、取扱業者への連絡も該当校において行うこと。なお、選手の変更にあたり委員長に提出する届については、所属学校長の決裁を受け、公印が押印されたものとする。変更届には所属学校長名により発行され職印が押印された理由書または診断書を添えること。また、諸会議資料作成上、変更については担当者(倉吉北高校 奥谷祐介)に郵送すること。

14. その他
- (1) 練習は、試合会場にて、6月9日（金）15:00～17:00に行ってもよい。会場設営の進行状況により、練習開始時刻が多少前後することがある。
  - (2) 早く来た学校が、練習会場のスペースを確保するために、帯や荷物を置いたり、部員を配置したりするなど、場所確保させる類の行為は、厳に慎むこと。
  - (3) 選手の入館開始時間（開館時間）は10日（土）8:30、11日（日）8:00とする。
  - (4) 3年以上の連続出場校は、参加申込様式の表の下の連続出場に関する記入欄に必要事項を記入し申し込みすること。ただし、令和2・3年度は含まないこととする。
  - (5) 宿泊申込は、必ず指定取扱業者を介し行う。本県開催の場合「通い」で出場する場合は、宿泊申込様式にて「宿泊 無」に○をして、業者に連絡すること。指定業者を介することなく、独自に宿泊先を契約したことが判明した場合は、先の契約を破棄させた上、指定業者により配宿を受けるよう中国高体連より指導する。
  - (6) 個人試合において、参加人数が少ない場合には、試合方法を開催県が決定する。
  - (7) 参加者の柔道着について、白帯の場合は規格に適合していれば認定マークは不要とする。
  - (8) 個人試合に出場する選手について、G-T-E-C受験等正当な理由により、開会式および体重測定に間に合わない場合は、所属学校長の決裁を受け、公印が押印された所定の用紙を委員長会議までに各県委員長に提出する。
  - (9) 前大会優勝校・準優勝校は、優勝旗・準優勝楯等を必ず持参すること。
  - (10) 新型コロナウイルス感染症の感染防止のための措置については別途通知する。
  - (11) 本大会は鳥取県高等学校体育連盟が示す「鳥取県高等学校体育連盟主催大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」および鳥取県が示す「大会への参加及び大会実施におけるガイドライン」、全日本柔道連盟が示す「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version 7）」に沿って開催する。
  - (12) 参加申込書の提出をもって、鳥取県高等学校体育連盟「個人情報保護及び肖像権の保護に関する基本的な考え方」について承諾をいただいたものとして対応する。